

第 8 章 文化財

第 1 節 文化財の保存と活用

第 2 節 保存・活用の方針

第 3 節 資料館

第 4 節 市史編さん

第1節 文化財の保存と活用

1 文化財の現状と取り組み

私たちの住むうるま市は天願断層を境に本島北部と中南部の自然的な特徴があり、本島中南部最長の海岸線と干潟をもっています。その環境での暮らしは山と川と湿地、そして海とともに生業を営むことによって様々な祭りや芸能などを育んできました。少なくとも今からおよそ 9,000 年前には人々が土器などを使い生活していたことが分かっており、その後も狩猟採集や農耕、交易などを通して生活を豊かにしてきました。今日の私たちの暮らしは、そうした先人から受け継いだ貴重な歴史文化遺産を基盤として成り立っています。

市の代表的な文化財は、世界遺産勝連城跡をはじめとして国指定文化財 4 件、国登録文化財 1 件、県指定文化財 7 件、県選択文化財 1 件、市指定文化財が 46 件あります。その多様な文化財を俯瞰し、総合的・一時的に保存・活用することは地域の特徴を活かした地域振興に貢献するとともに、確実な文化財の継承につながります。これからの施策には住民・企業・民間団体・文化財課・庁内関係部局などが地域総がかりで文化財を守り、活かし、伝える体制の構築を図り、市内の貴重な文化財の存続につなげていくことが期待されます。その文化財の継承に努めるため、以下の施策に取り組みます。

1. 自然遺産・歴史文化遺産の活用（地域活性化）

本市の歴史文化遺産を保存し、その整備を進め、市民の歴史と文化の学習に寄与することで、郷土に愛着と誇りを育んでいきます。また、自然遺産・歴史文化遺産を活用することにより、地域の活性化に結びつけ、そして経済へ波及させるべく促進します。

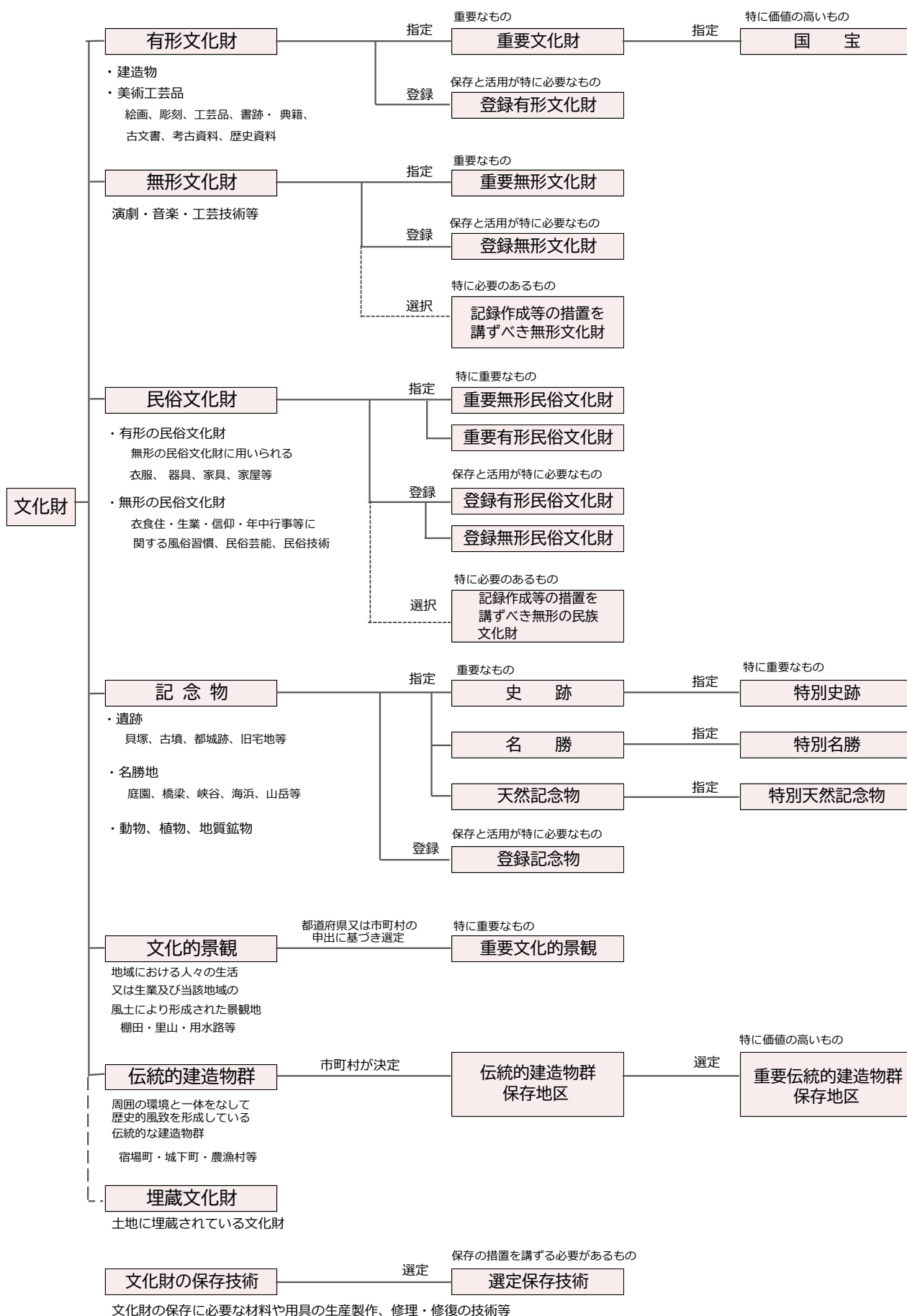
2. 世界文化遺産「勝連城跡」の保全と復元整備ならびに生涯学習・学校教育の環境整備

世界文化遺産の勝連城跡については、歴史的環境の保全を図ります。また、城壁や城門などの復元整備を進めるとともに、あまわりパーク等を活用しながら、歴史学習のできる環境の整備を進めます。さらに、各種市民講座の開催や学校教育における歴史学習の推進を図るとともに、観光振興や地域活性化など、様々な場面で積極的な活用を進めていきます。

3. 自然遺産・歴史文化遺産の調査と新たな文化財の指定・未指定文化財の整理

市内各地に残るさまざまな自然遺産ならびに歴史文化遺産の保存およびその調査を継続的に進め、市民協働による登録とその保存環境を整えます。それらの成果をもとに新たな文化財の指定を追加し、未指定文化財も整理することで、本市の魅力づくりを図ります。

2 文化財の体系図



3 指定文化財一覧

国指定文化財

	種 別	名 称	指定月日	備 考
1	史 跡	伊 波 貝 塚	昭和47年5月15日	
2	〃	安 慶 名 城 跡	〃	
3	〃	勝 連 城 跡	〃	
4	〃	仲 原 遺 跡	昭和61年8月16日	

国登録文化財

	種 別	名 称	指定月日	備 考
1	史 跡	平 敷 屋 製 糖 工 場 跡	平成27年1月26日	

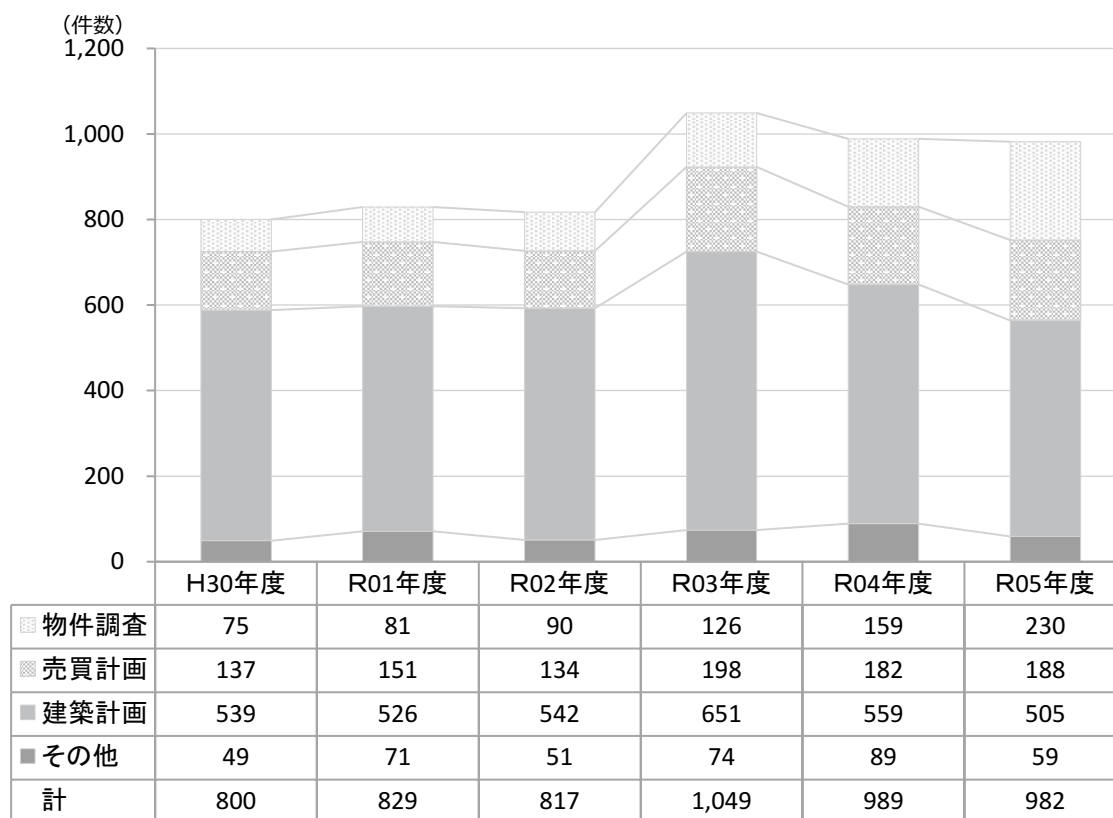
県指定文化財

	種 別	名 称	指定月日	備 考
1	有形文化財	三 線 翁 長 開 鐘	昭和30年5月23日	
2	〃	三 線 久 場 春 殿 型	昭和33年8月15日	
3	〃	三 線 真 壁 型	平成6年3月15日	
4	〃	勝連間切南風原村文書	昭和52年7月11日	
5	史 跡	平 安 名 貝 塚	昭和31年10月19日	
6	〃	伊 波 城 跡	昭和36年6月15日	
7	天然記念物	チ ャ ー ン	平成3年1月16日	
8	選択文化財	津 堅 島 の 唐 踊 り	昭和53年3月24日	

市指定文化財

	種 別	名 称	指定月日	備 考
1	有形民俗文化財	東恩納平良家葬祭具	昭和56年10月15日	石川市第1号
2	〃	伊波金細工鍛冶道具	〃	〃 2号
3	建造物	嘉手苅観音堂	昭和59年6月12日	〃 3号
4	有形民俗文化財	伊波メンサー織道具一式	昭和63年11月15日	〃 4号
5	無形民俗文化財	伊 波 メ ン サ ー 織	昭和63年11月15日	〃 4号
6	史 跡	平 敷 屋 タ キ ノ ー	平成2年3月26日	勝連町第1号
7	有形民俗文化財	南 風 原 の 村 獅 子	〃	〃 2号
8	〃	伊 波 ス ー ル 墓	平成6年3月4日	石川市第5号
9	工 芸 品	三 線 真 壁 型 (大 型)	〃	〃 6号
10	〃	三線平仲知念型 (大型)	〃	〃 7号
11	〃	三線鴨口与那型 (中型)	〃	〃 8号
12	有形民俗文化財	地 頭 代 火 の 神	平成6年3月31日	勝連町第4号
13	史 跡	ア マ ミ チ ュ ー の 墓	〃	〃 5号
14	有形民俗文化財	シ ル ミ チ ュ ー	〃	〃 6号
15	建造物	ヤ ン ガ ー	平成7年6月14日	与那城町第2号
16	名 勝	犬名河 (インナガー)	〃	〃 3号
17	建造物	ガ ー ラ 缸	〃	〃 4号
18	有形民俗文化財	宮城御殿 (ナーグスクウドゥン)	〃	〃 5号
19	〃	与佐次川 (ユサチガー)	〃	〃 6号
20	史 跡	平 安 座 西 グ ス ク	〃	〃 7号
21	天然記念物 (植物)	クボウグスクの植物群落	平成9年4月23日	勝連町第7号
22	有形民俗文化財	中 の 御 嶽	〃	〃 8号
23	史 跡	ヤマトウンチュウ墓	〃	〃 9号
24	〃	ワ イ ト ュ イ	〃	〃 10号
25	無形民俗文化財	南 風 原 の 獅 子 舞	平成11年3月10日	〃 11号
26	〃	平安名のウムイ・キューナ	〃	〃 12号
27	〃	平 敷 屋 エ イ サ ー	〃	〃 13号
28	〃	天 願 獅 子 舞	平成11年7月15日	具志川市第1号
29	〃	田 場 テ イ ン ベ ー	〃	〃 2号
30	建造物	吉 本 家	平成12年11月7日	勝連町第14号
31	史跡 (戦争遺跡)	新川・クボウグスク周辺の陣地壕群	平成16年3月3日	〃 15号
32	史 跡	兼箇段ジョーミーチャー墓	平成17年2月16日	具志川市第3号
33	〃	田 場 ガ ー	〃	〃 4号
34	〃	大 田 坂	〃	〃 5号
35	〃	沖 縄 諮 詢 会 堂 跡	平成17年3月1日	石川市第9号
36	〃	東 恩 納 博 物 館 跡	〃	〃 10号
37	〃	石 川 部 落 事 務 所	〃	〃 11号
38	無形民俗文化財	越来治喜 (マールン船の建造技術)	平成17年3月4日	与那城町第8号
39	無形民俗文化財	宮 城 ウ シ デ ー ク	〃	〃 9号
40	史 跡	敷 地 洞 穴 遺 跡	平成29年3月17日	うるま市第39号
41	無形民俗文化財	うるま市の闘牛	平成30年7月13日	〃 40号
42	史 跡	宮城島のヒータチ (火立て) 跡	平成30年7月13日	〃 41号
43	無形民俗文化財	平 安 座 の サ ン グ ヲ ャ ー	令和2年4月13日	〃 42号
44	有形民俗文化財	上 江 洲 の ウ フ ガ ー	令和2年4月13日	〃 43号
45	史 跡	具 志 川 グ ス ク	令和5年8月9日	〃 44号
46	史跡 (戦争遺跡)	具 志 川 グ ス ク の 壕	令和5年8月9日	〃 45号

4 埋蔵文化財包蔵地等確認依頼統計表



令和6年4月1日現在



埋蔵文化財包蔵地等確認

第2節 保存・活用の方針

1. 自然、歴史文化を知る・学ぶ

- 自然遺産と歴史文化遺産の把握調査等の実施
- 指定文化財等の保存推進
- 指定文化財の修理
- 文化財講座の開催
- 学校教育・生涯学習等への普及啓発

2. 自然、歴史文化を守る・継承する

- 案内板・解説版・標柱の設置や文化財リーフレットの作成等による周知活動
- 無形民俗文化財等の継承団体による発表の場の支援
- 伊波メンサー織保存会、うるま市文化財ガイドの会等の育成
- 資料の収集・保管、文化財防火デーの開催

3. 自然、歴史文化をまちづくりへ活用する

- 自然遺産および歴史文化遺産を重点テーマとした企画展等の開催
- 自然遺産および歴史文化遺産の魅力を市内外へ情報発信
- 保存・活用に関する一体的な取組を推進するため自治会、関係団体、専門家、庁内部局との連携・協力体制づくり



「伊波メンサー織」

4. 勝連城跡の入城者数

単位(人)

年	暦年 (1月～12月)	年度 (4月～3月)	県内	県外	外国人	備 考
2000年（平成12年）	36,000	40,500				県内外（外国人含む）
2001年（平成13年）	54,000	54,000				〃
2002年（平成14年）	54,000	54,000				〃
2003年（平成15年）	54,000	54,000				〃
2004年（平成16年）	54,000	54,000				〃
2005年（平成17年）	54,000	54,000				〃
2006年（平成18年）	83,957	99,075	35,276	58,799		県外に外国人含む
2007年（平成19年）	85,210	82,445	23,426	59,019		〃
2008年（平成20年）	94,061	96,089	23,688	72,401		〃
2009年（平成21年）	101,242	101,090	27,493	73,597		〃
2010年（平成22年）	102,919	99,484	26,114	73,370		〃
2011年（平成23年）	90,827	104,091	21,264	82,827		〃
2012年（平成24年）	132,858	144,988	24,994	119,994		〃
2013年（平成25年）	169,890	175,211	37,104	138,107		〃
2014年（平成26年）	163,840	156,052	30,393	125,659		〃
2015年（平成27年）	158,790	148,020	27,743	120,277		〃
2016年（平成28年）	161,685	171,878	26,389	126,731	18,758	
2017年（平成29年）	174,421	172,566	23,686	113,479	35,401	
2018年（平成30年）	184,646	183,881	24,798	111,630	47,453	200万人達成（1月9日）
2019年（平成31年）	166,954	162,942	21,868	102,820	38,254	令和元年
2020年（令和2年）	87,121	64,471	20,786	38,600	5,085	
2021年（令和3年）	66,483	59,238	26,396	30,163	2,679	
2022年（令和4年）	68,708	86,525	15,741	64,243	6,541	
2023年（令和5年）	105,056	108,839	21,994	74,014	12,831	
合 計	2,504,668	2,527,385	459,153	1,585,730	167,002	

*世界遺産登録前（2000年）は、1日100人×30日×12ヶ月で計算しています。

*2000年の4～12月は、3,000人×9ヶ月＝27,000人。その年度の1～3月は、4,500人×3ヶ月＝13,500人。

*世界遺産登録後から平成18年までは、1日150人×30日×12ヶ月で計算しています。

*平成18年5月より実数を集計している。

第3節 資料館

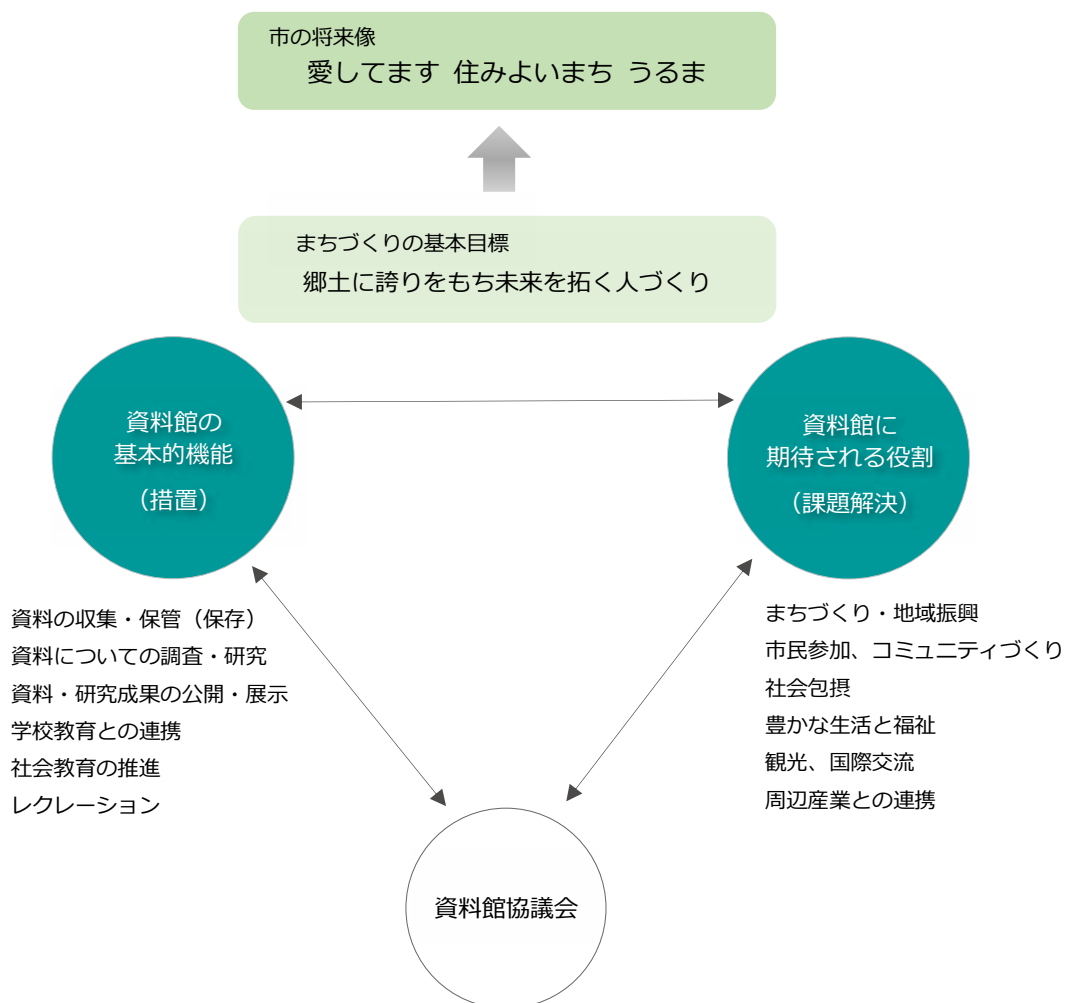
1 資料館の機能と社会構造

1. 目的

社会教育法及び文化芸術基本法の精神に基づき、博物館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もって国民の教育、学術及び文化の発展に寄与する（博物館法第1条）。

2. 設置

文化財および市とその周辺地域にまつわる歴史民俗に関する資料を収集、研究、保存、展示し、市民の知識および教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与する（うるま市立資料館条例第1条）。



2 うるま市立資料館

1. 石川歴史民俗資料館



Google Maps



Instagram

所在地	石川曙二丁目1番55号（石川図書館複合） TEL:098-965-3866
開館	1982（昭和57）年4月1日 旧館 1992（平成4）年7月22日 新館
竣工	1992（平成4）年1月30日
面積	2階 1,094.485㎡ 展示室・事務室・収蔵庫等 3階 162.164㎡ 収蔵庫・変電室等
駐車場	地下駐車場 20台（無料）
開館時間	午前9時～午後5時（最終入館午後4時30分）
入館料	無料
休館日	毎週月曜日（月曜が祝日の場合その翌日） 年末年始（12月29日～1月3日） 祝日（慰霊の日を含む）の翌日

展示テーマ

- 平和資料展「戦後にふれる」
 - たくされた記憶 つなげる歴史
- 石川歴史民俗資料館会館40周年記念展—



平和資料展の様子①

展示内容

- 戦後の衣食住に焦点を当て、実際に生活道具に触れる
- 開館40周年を迎えた当館の活動内容を展示する



平和資料展の様子②

開館40周年記念展の様子

2. 与那城歴史民俗資料館



Google Maps



Instagram

所在地	与那城中央1番地（与那城出張所複合） TEL:098-978-3149
開館	1995（平成7）年3月31日
竣工	1994（平成6）年2月21日
面積	1階 447.8㎡ 展示室・市民課窓口等 2階 372.2㎡ 資料室・講堂等
駐車場	15台（無料）
開館時間	午前9時～午後5時（最終入館午後4時30分）
入館料	無料
休館日	土・日・祝日（慰霊の日を含む） 年末年始（12月29日～1月3日）

展示テーマ

- うるまの発掘速報展
- 東南アジアの洞窟遺跡

展示内容

- 文化財課が近年行った発掘調査に関する展示
- 日本・東南アジアの洞窟遺跡に関する展示



「うるまの発掘速報展」展示の様子



「うるまの発掘速報展」見学の様子



「東南アジアの洞窟遺跡」動画放映の様子



「東南アジアの洞窟遺跡」展示の様子

3. 海の文化資料館



Google Maps



Blog

所在地	与那城屋平4番地（海の駅あやはし館複合） TEL:098-978-8831
開館	2003（平成15）年4月27日
竣工	2002（平成14）年12月20日
面積	2階 833.82㎡ 展示場・広域交流会議室等 1階 1,140.86㎡ 特産販売所等
駐車場	300台（無料）
開館時間	午前9時～午後5時 （最終入館午後4時30分）
入館料	無料
休館日	毎週月曜日（月曜が祝日の場合その翌日） 年末年始（12月29日～1月3日） 祝日（慰霊の日を含む）の翌日

館の任務

- 海とくらしとともに生きる資料館
- まちに生き、市民とつくる、参画交流型の資料館
- 地域の民間伝承を未来につなげ、社会に開く資料館
- 子どもたちとともに、成長する資料館

展示テーマ

- 企画展「マヤー～人と猫～」
- 博物館学芸員実習展「魔よけってなあーに？」



企画展「マヤー～人と猫～」展示の様子

展示内容

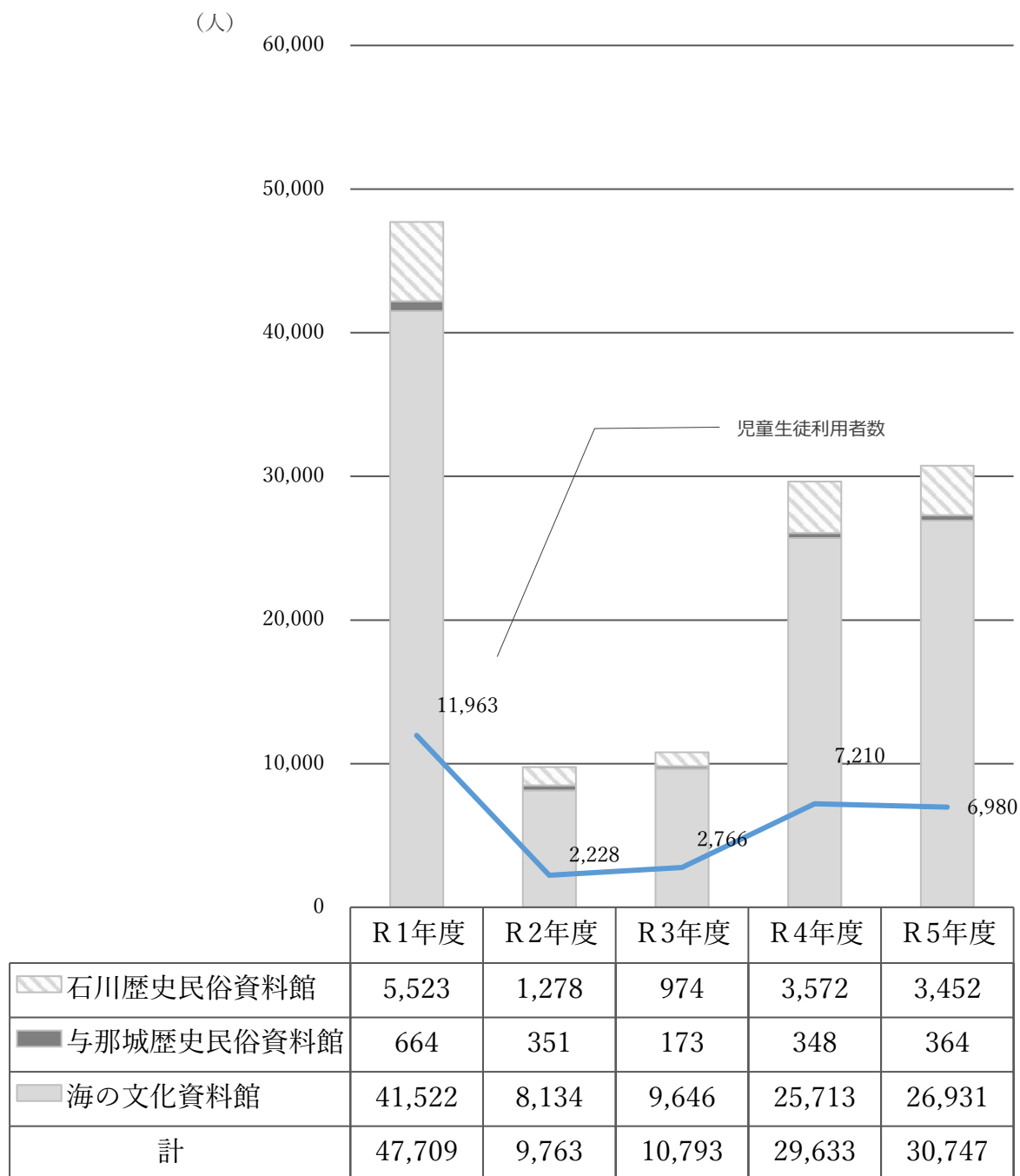
- 勝連城跡で土出した猫の骨など実物資料を展示し、
地域の子供たちの学習活動を支援する
- 地域に残る魔よけ（シーサーやサン）年中行事を展示



「魔よけってなあーに？」展示の様子



3 入館者の動向



児童生徒利用者数の内訳

資料館	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R5 年度
石川歴史民俗資料館	2,794	356	312	1,609	1,585
与那城歴史民俗資料館	279	17	54	80	117
海の文化資料館	8,890	1,855	2,400	5,521	5,278
計	11,963	2,228	2,766	7,210	6,980

第4節 市史編さん

1 うるま市具志川市史編さん概要

1. 目的

先史時代から現代にいたるまでの歴史という壮大なドラマの中で、旧具志川市がどのように動き、どう変遷してきたのか、それぞれの時代を生きた人びとが、どのようにかかわってきたのかを、総合的に叙述することを目的とする。

2. 基本方針

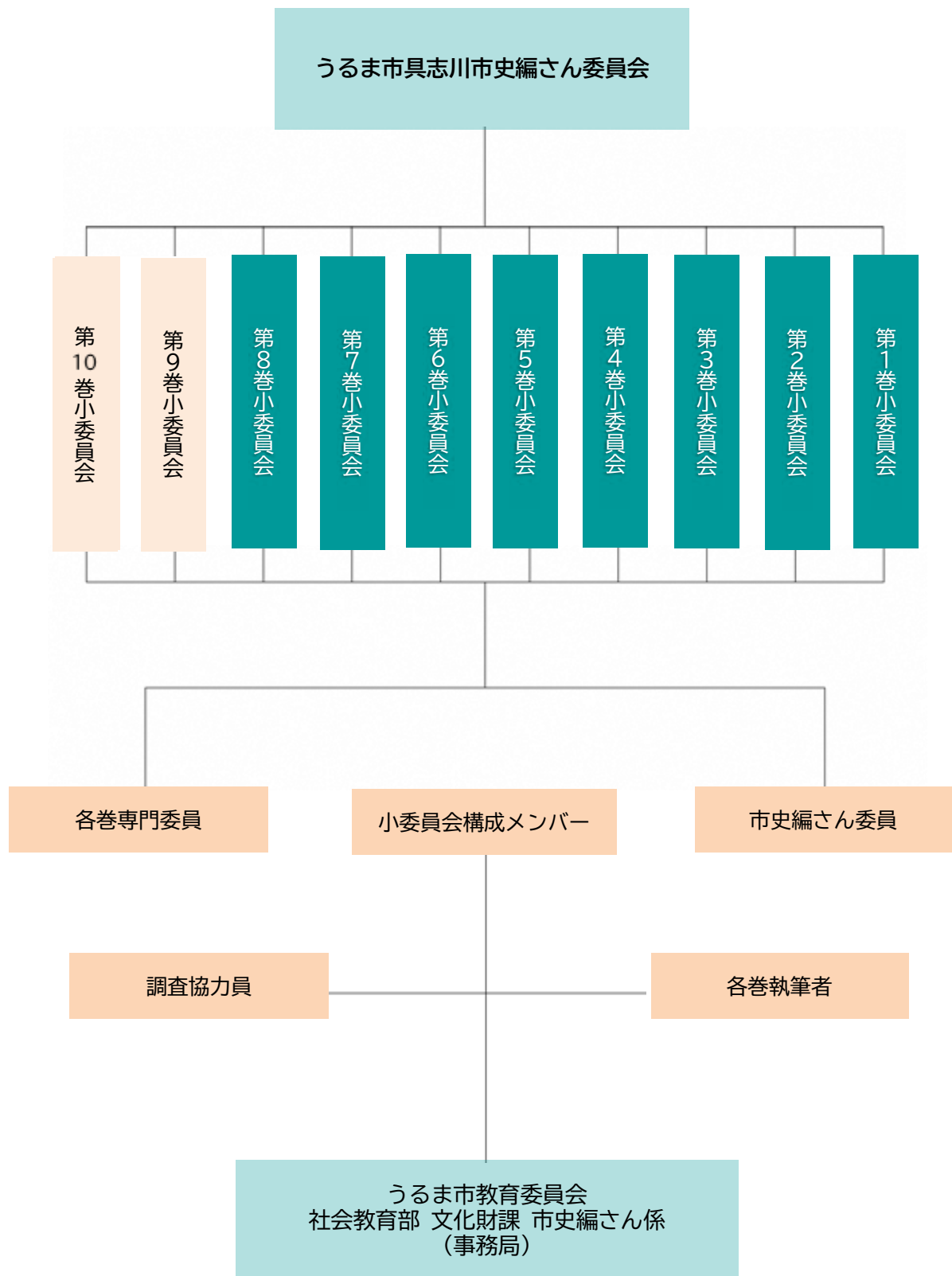
- ① 徹底的な史資料調査のもとに、科学的で実証的な編集を志向し、現在の地域史研究の水準を踏まえた学問的遺産として、後世に残せる価値あるものとする。
- ② 市民の郷土意識を啓発するとともに、文化的発展に寄与することを目標とし、市民の多面的な参加を得て史資料収集を行い、真に市民による市民のための親しみやすい地域史づくりを基本とする。

3. 巻別構成内容及び刊行年

令和6年4月現在

本 編			別 巻
巻 数	編 構 成	発行年	
第1巻	新聞集成<明治編>	平成3年	学校教材 ①『ふるさとの伝え話』 (平成6年) ② 紙芝居(平成10年) 『田場大工』 『バキムン退治』
第2巻	新聞集成<大正・昭和戦前編>	平成5年	
第3巻	民話編 上<伝説>	平成9年	
	民話編 下<昔話>	平成12年	
第4巻	移民・出稼ぎ<論考編><資料編><証言編>	平成14年	
第5巻	戦争編<戦時記録><戦時体験Ⅰ・Ⅱ>	平成17年	
第6巻	教育編	平成18年	
第7巻	新聞集成<昭和戦後編>	平成20年	
第8巻	民俗編	平成23年	
第9巻	文献・統計編		
第10巻	通史編		

4. うるま市具志川市史編さん委員会組織図



2 市町村史刊行物一覧

具志川

①具志川市史

No.	書 籍 名	発行年
1	具志川市誌	昭和45年
2	具志川市史 第一巻 新聞集成 明治編	平成 3年
3	具志川市史 第二巻 新聞集成 大正・昭和戦前編	平成 5年
4	具志川市史 第三巻 民話編 上 伝説	平成 9年
5	具志川市史 第三巻 民話編 下 昔話	平成12年
6	具志川市史 第四巻 移民・出稼ぎ編 (論考編・証言編・資料編) 3冊セット ※付録 具志川市史編集資料13 写真集 南洋群島の製糖とくらし	平成14年
7	具志川市史 第五巻 戦争編(戦時記録・戦時体験Ⅰ・Ⅱ) 3冊セット	平成17年
8	具志川市史 第六巻 教育編 ※付録CD	平成18年
9	具志川市史 第七巻 新聞集成 戦後編 (社会編・政治経済編・教育文化スポーツ編) 3冊 ※付録 具志川市史編集資料14 志喜屋孝信関係新聞記事集成	平成20年
10	具志川市史 第八巻 民俗編	平成23年
11	具志川市史 別 巻 民話集 『ふるさとの伝え話』	平成 6年
12	具志川市史 別 巻 紙芝居 『田場大工』 『バキムン退治』	平成10年

②具志川市史だより

No.	書 籍 名	発行年
1	具志川市史だより 創刊号	平成 3年
2	具志川市史だより 第2号	平成 3年
3	具志川市史だより 第3号	平成 4年
4	具志川市史だより 第4・5合併号	平成 5年
5	具志川市史だより 第6・7合併号	平成 6年
6	具志川市史だより 第8・9合併号	平成 7年
7	具志川市史だより 第10・11合併号	平成 8年
8	具志川市史だより 第12号	平成 9年
9	具志川市史だより 第13号	平成10年
10	具志川市史だより 第14号	平成11年
11	具志川市史だより 第15号	平成12年
12	具志川市史だより 第16号	平成13年
13	具志川市史だより 第17号	平成14年
14	具志川市史だより 第18号	平成15年

③具志川市史編集資料

No.	書 籍 名		発行年
1	具志川市史編集 資料 1	証言記録集《明治編》明治の具志川を語る	平成 3年
2	具志川市史編集 資料 2	証言記録集《大正・昭和戦前編》 大正・昭和戦前の具志川を語る	平成 5年
3	具志川市史編集 資料 3	具志川小学校創立五十周年記念誌（復刻版）	平成 5年
4	具志川市史編集 資料 4	山城文盛寄贈資料 生まれじまの記	平成 5年
5	具志川市史編集 資料 5	又吉倫祥・武二郎・淳関係資料 海外に雄飛した三兄弟の軌跡	平成 6年
6	具志川市史編集 資料 6	防衛庁防衛研修所図書館蔵 防衛庁資料目録	平成 7年
7	具志川市史編集 資料 7	具志川市の慰霊塔	平成 7年
8	具志川市史編集 資料 9	アルゼンチン・ウルグアイ移民資料 前堂盛松日記〈上〉	平成 8年
9	具志川市史編集 資料10	アルゼンチン・ウルグアイ移民資料 前堂盛松日記〈下〉	平成10年
10	具志川市史編集 資料11	一般疎開 安村静日記 －字天願から宮崎へ－	平成10年
11	具志川市史編集 資料12	移民・出稼ぎ関係新聞記事集成 －アジア・太平洋地域－	平成14年
12	具志川市史編集 資料13	写真集 南洋群島の製糖とくらし －沖山策写真アルバムより－	平成14年
13	具志川市史編集 資料14	具志川市史編集資料14 志喜屋孝信関係新聞記事 集成 一九四五年～一九六〇年	平成20年
14	絵はがき 4 枚セット		平成 6年
15	ふるさとの写真帳		平成 3年

■ 石川

No.	書 籍 名		発行年
1	石川市誌		昭和51年
2	石川市史（改訂）		昭和63年
3	いしかわの民話	伝説	昭和60年
4	いしかわの民話	昔話	昭和60年

■ 勝連

No.	書 籍 名		発行年
1	勝連村誌		昭和41年
2	勝連町史二		昭和59年
3	かつれんの民話	本島篇	平成 3年
4	かつれんの民話	離島篇	平成 2年

■ 与那城

No.	書 籍 名		発行年
1	与那城村史		昭和55年
2	よなぐすくの民話		平成元年

